

1

特集

「官立浦和高等學校記念資料室」が リニューアルオープン

 Vol. 37
 November
 2023

埼玉大学図書館は、大学の創基150周年記念事業の一環として、前身校のひとつであり昨年に開校から100年を迎えた官立浦和高等学校の記念資料室を改修し、8月7日(月)にリニューアルオープンしました。

同日に行われたオープニングセレモニーには坂井貴文学長をはじめとする役職員が出席し、セレモニー後には井上智勝図書館長による資料室の内覧会を行いました。

本資料室は、平成21年の埼玉大学創立60周年の際に官立浦和高等學校同窓会からの資料寄贈を受けて図書館の一室に開設したもので、当時の浦高生の様子が伝わる貴重な資料が所蔵されています。主な展示資料は、正門表札(木製)、武原寮表札(木製)、浦高記念祭絵はがき、校旗、マント、制帽、朴葉下駄、入学許可書、卒業証書、柱時計、当時の時間割等の他、約50点となっています。一般公開を行っておりますので、皆様ぜひお越しください。

●開室時間／平日 9:00～17:00 (ただし図書館開館日に限る) ●入室料／無料



▲リニューアルされた展示室



▲展示資料の説明を行う井上図書館長(写真左端)

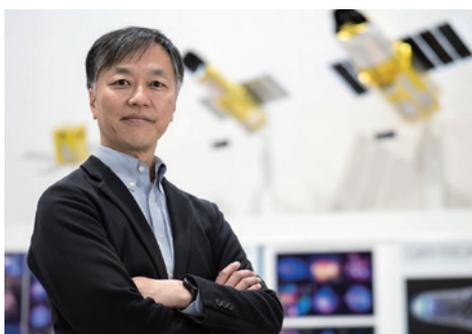


▲展示資料の一部(浦高記念祭絵はがき)

2 研究 X線分光撮像衛星 XRISM(くりずむ)の打ち上げ成功および初期機能確認運用期間への移行について

大学院理工学研究科 田代信教授がPI(研究主宰者)を務めるほか、宇宙物理研究室の寺田幸功准教授、佐藤浩介准教授、勝田哲准教授が主要な開発に携わってきたX線分光撮像衛星(XRISM)が、2023年9月7日8時42分11秒(日本標準時)に種子島宇宙センターから打ち上げられました。

打ち上げは成功し、この度XRISMフリティカル運用期間が終了したので、この後初期機能確認運用期間へ移行します。これからのXRISMと研究者の活躍にご期待ください。



▲大学院理工学研究科 田代信教授



▲XRISMを搭載したH-IIAロケット47号機打ち上げの様子
©宇宙航空研究開発機構(JAXA)

3 研究 『埼玉大学研究マップ』の更新版を刊行

『埼玉大学研究マップ』は、地元埼玉に足を置いて社会の課題解決に貢献していく使命を果たすため、大学の全研究者の研究に関する情報を、圧縮した形で網羅したもので、初版は埼玉大学70周年記念事業の一環として2019年に刊行されました。今回、これを直近の研究内容に基づき、リニューアルして刊行いたしました。

本学の多様な研究アクティビティを多くの皆様方を知っていただくとともに、各種の協力・連携の可能性を追求する一助となれば幸いです。



▲デジタルカタログ版は大学HPから閲覧可能です

4 国際 アーカンソー州立大学の教員・学生が来学しました

8月7日(月)、本学協定校のアーカンソー州立大学ジョーンズボロ校(ASU)から教員3名、学生10名の計13名が来学しました。

経済学部の中川忍副学部長が日本社会の高齢化と経済の相関についての講義を行い、その後本学の学生とディスカッションを行いました。

ディスカッションは英語で行われ、ASUの学生と埼玉大生は日本やアメリカの経済・社会について自身の意見を述べ合い、活発な議論が交わされました。セミナー後も自由な歓談が交わされました。

本学とASUはダブル・ディグリー・プログラムもっており、今後ますますの交流が期待されます。



▲講義後の集合写真

5 国際 2023日本留学AWARDS「留学生に勧めたい進学先」国公立大学部門(東日本)に入賞

埼玉大学が、日本留学AWARDS「日本語学校の教職員が選ぶ留学生に勧めたい進学先」の2023年国公立大学部門(東日本)に入賞しました。2016年、2017年に続いて3回目の入賞となります。

「日本留学AWARDS」は、多くの日本留学を志す外国人留学生の環境整備に貢献することを目的に、日本語学校教育研究会専門委員会が2012年に創設。私立大学文科系・私立大学理工系・国公立大学・大学院などの部門ごとに東西地域の上位校が選出されます。今年是全国の日本語学校110校から326票が集まり、50校が選出されました。

本学は国公立大学部門(東日本)において、上位5校のうちの1校に選ばれました。



▲賞状

6 産官学連携 先端産業国際ラボラトリーが経済産業省の「地域オープンイノベーション拠点(地域貢献型)」に選抜

9月22日(金)に本学研究機構オープンイノベーションセンター・先端産業国際ラボラトリーが経済産業省の「第5回地域オープンイノベーション拠点(地域貢献型)」に選抜されました。

この制度は大学等を中心とした地域イノベーション拠点の中で、企業ネットワークのハブとして活躍している産学連携拠点を評価・選抜することにより、信用力を高めるとともに支援を集中させ、トップ層の引き上げを促すことを目的としています。

今回採択された「地域貢献型」は、地域の課題解決や地域経済の振興等を目指し、地域の企業との産学連携活動を積極的に行っている拠点として選抜されたものであり、経済産業省から、ひとつひとつの拠点と対話した、オーダーメイド型の伴走支援が受けられます。本学では、本支援制度を活用してイノベーション創出に向けた支援体制を強化し、地域企業、地方公共団体、公的機関等との産学官金連携による研究活動をより推進することで、地域の課題解決や地域活性化を目指します。



7 研究 【日本人初】Walter Wittke Prize 2023を受賞 (大学院理工学研究科 富樫陽太 助教)

大学院理工学研究科 富樫陽太助教がドイツのWalter Wittke Prize 2023を受賞しました。Walter Wittke Prizeは、Walter Wittke先生(アーヘン工科大学元教授、国際岩の力学学会ISRM元会長1979-1983)が2017年に設立した財団(Walter Wittke Foundation)で、岩の力学分野における卓抜した業績に対して表彰しているものです。

6月22日(木)、the 8th Rock Mechanics and Tunneling Day(ドイツWeinheim)において授賞式および講演が行われました。今回受賞したWalter Wittke Prizeは、年に世界で一人だけが表彰され、日本人では初の受賞となります。



▲記念品贈呈



▲講演会の様子

- 受賞者：埼玉大学大学院理工学研究科 富樫陽太助教
- 受賞題目：岩盤の変形異方性に関する研究業績
(Int J Rock Mech Min Sci等の学術誌に掲載された論文が評価された)

8 地域 埼玉大学連続市民講座part14 「明るい未来への展望—跳躍へのヒント—」全5回の開催が終了

今年で14回目を迎える埼玉大学連続市民講座part14が7月15日(土)に最終回を迎えました。

この講座は、埼玉大学における研究成果の一端を地域の方々を紹介しながら、豊かな地域づくりの役に立ちたいという目的で始まったもので今年度で14回目となります。

今年度は「明るい未来への展望—跳躍へのヒント—」をテーマに、「自動運転技術」「社会運動」「バイオテクノロジー」「企業変革」「日本型教育」と講座内容も多岐にわたり、日々わたしたちを取りまく環境が変化し続ける中、今後の明るい未来をどう作っていくかを、わかりやすく解説・紹介しました。来場者からは、「研究の内容をわかりやすく丁寧にお話しいただき、有意義な時間となった」「自分には関係のない分野と思っていたが、お話を聞いて幅広い知識が得られた」といった感想が寄せられました。

初回講義にて坂井貴文学長は、「この3年間の新型コロナウイルス感染症によって我々の生活は多大な影響を受けましたが、感染法上の位置付けが5類に変更され、さまざまな制約が解除されたことにより、今こそ、ポストコロナの未来について想いを馳せる時であると感じます。今後も埼玉大学約420人の教員の日々の研究を、市民の皆様方へお伝えし、教育、研究、社会貢献を進めて参りますので、ぜひ、更なるご理解とご支援をお願いいたします」と挨拶を述べました。

本講座は、対面とオンラインのハイブリット開催で行われ、ともに多くの方々の参加をいただきました。本講座は来年度も開催を予定しています。



▲多くの方に来場いただいた会場の様子

9 教育 令和5年度秋季学位授与式・入学式を挙

9月22日(金)に令和5年度埼玉大学秋季学位授与式を挙りました。今年度は社会人学生や留学生を含む80名(博士24名、修士28名、学士18名、うち留学生56名)が卒業・修了し、坂井学長から学位記が授与されました。

翌週9月27日(水)には、秋季入学式を挙。55名を埼玉大学大学院に迎えました。入学者のうち51名は、中国、ベトナム、バングラデシュ等の国々からの留学生です。坂井学長は式辞で「これからの2年間、または3年間を健康にそして有意義に過ごし、研究、勉学はもちろん、幅広い活動においても多くの成果をあげられることを祈っております」と激励の言葉を贈りました。



▲学位記授与の様子



▲入学式で祝辞を述べる坂井学長



▲学位記授与と卒業生・修了生代表挨拶をされた皆さん



▲新入生との記念撮影

埼玉大学基金室より 埼玉大学リサイクル募金 きしゃぼんのご案内

いつも埼玉大学基金へのご理解とあたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。

今回は、埼玉大学リサイクル募金のご紹介をさせていただきます。本募金は皆様から読み終えた本・DVD、ブランド品等をご提供いただき、その査定換金額を埼玉大学基金に寄附する取り組みです。寄附金は、教育・研究支援、キャンパス環境整備、国際交流支援、社会連携支援、学生支援に役立てられます。どなたでもお申し込みいただけます。今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



募金になるもの(一例)

本	DVD	CD	ゲーム
切手	はがき	貴金属	ブランド品

書籍はISBNコードがあるかご確認ください。
※裏表紙、奥付等にあります。

(WEB受付) 24時間・365日

WEB 埼玉大学リサイクル募金

www.kishapon.com/saitama-u/

(電話受付) 9時～18時

0120-29-7000 [埼玉大学への寄付]とお伝えください

◆埼玉大学基金へのご寄附の累計額

令和5年9月末の状況 **689,726,946円**

うちリサイクル募金 きしゃぼん によるご寄附 **1,484,729円**

お問い合わせ先 埼玉大学基金室 (総務部広報渉外課内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp

